



組合員アンケートに見る 正組合員・次世代層とJAのつながり ～心を繋ぐ2つの具体策の提案～

NO.7

JA横浜 榎本修太郎

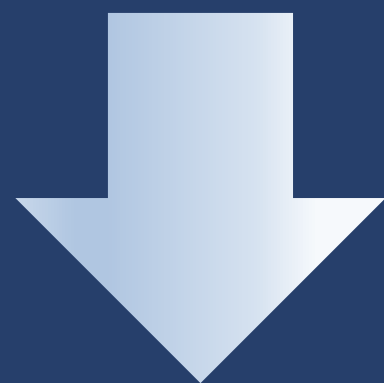
発表の流れ

- 現状分析
- JA横浜の組合員との関係強化策
- 組合員アンケート
- 施策提案

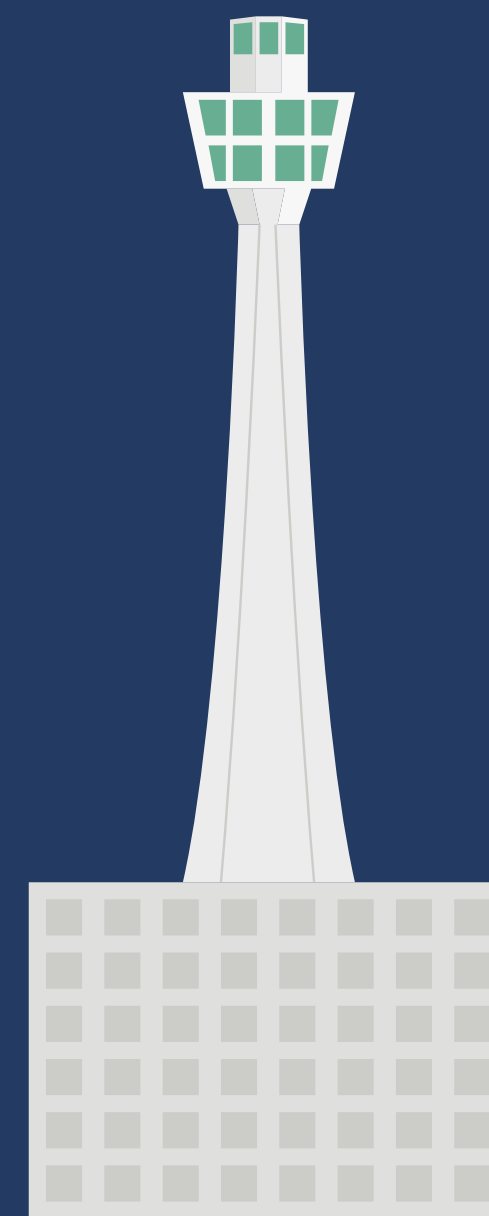


本論の目的

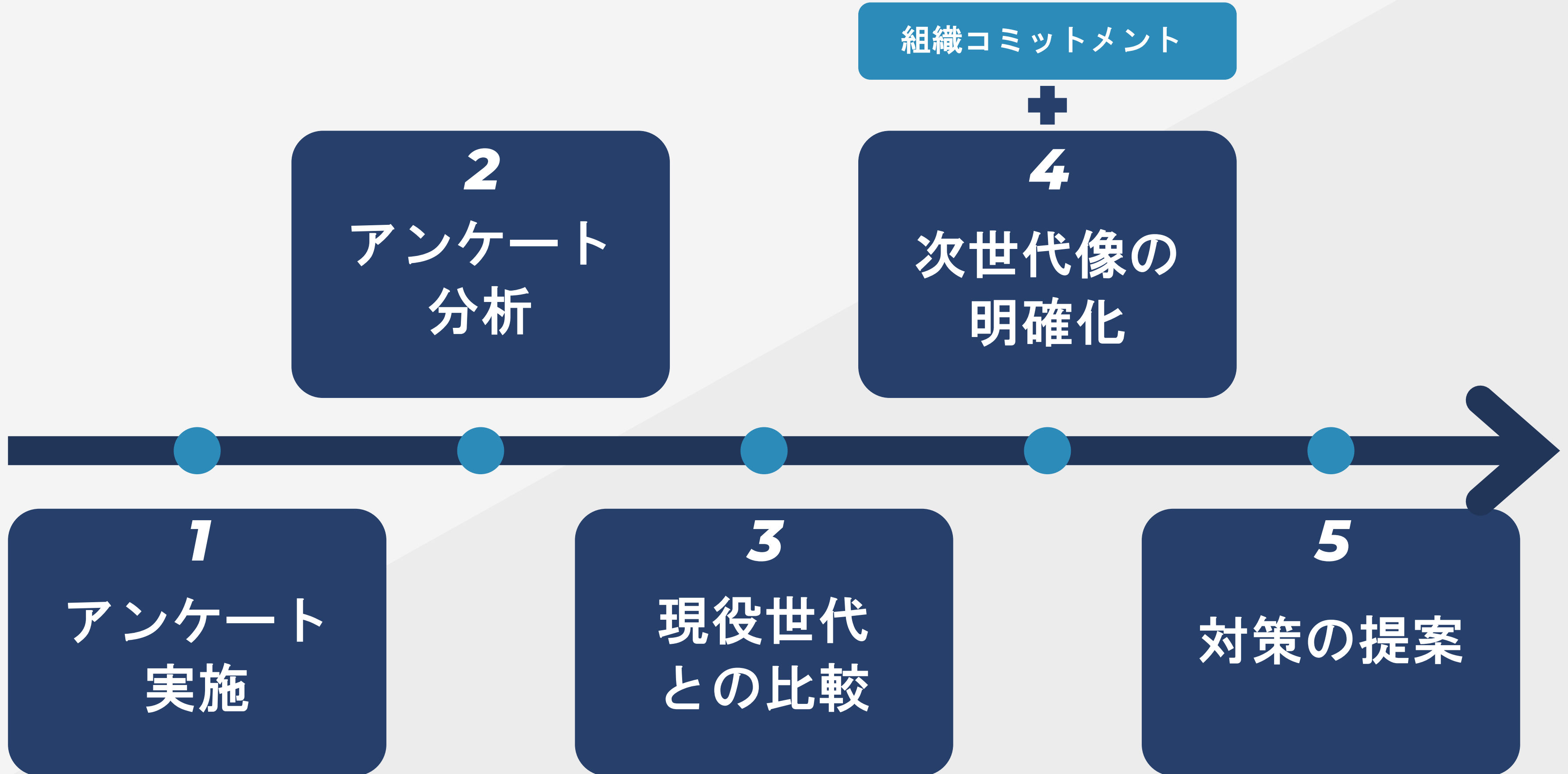
次世代像の明確化



関係強化策の提案



方法



JA横浜



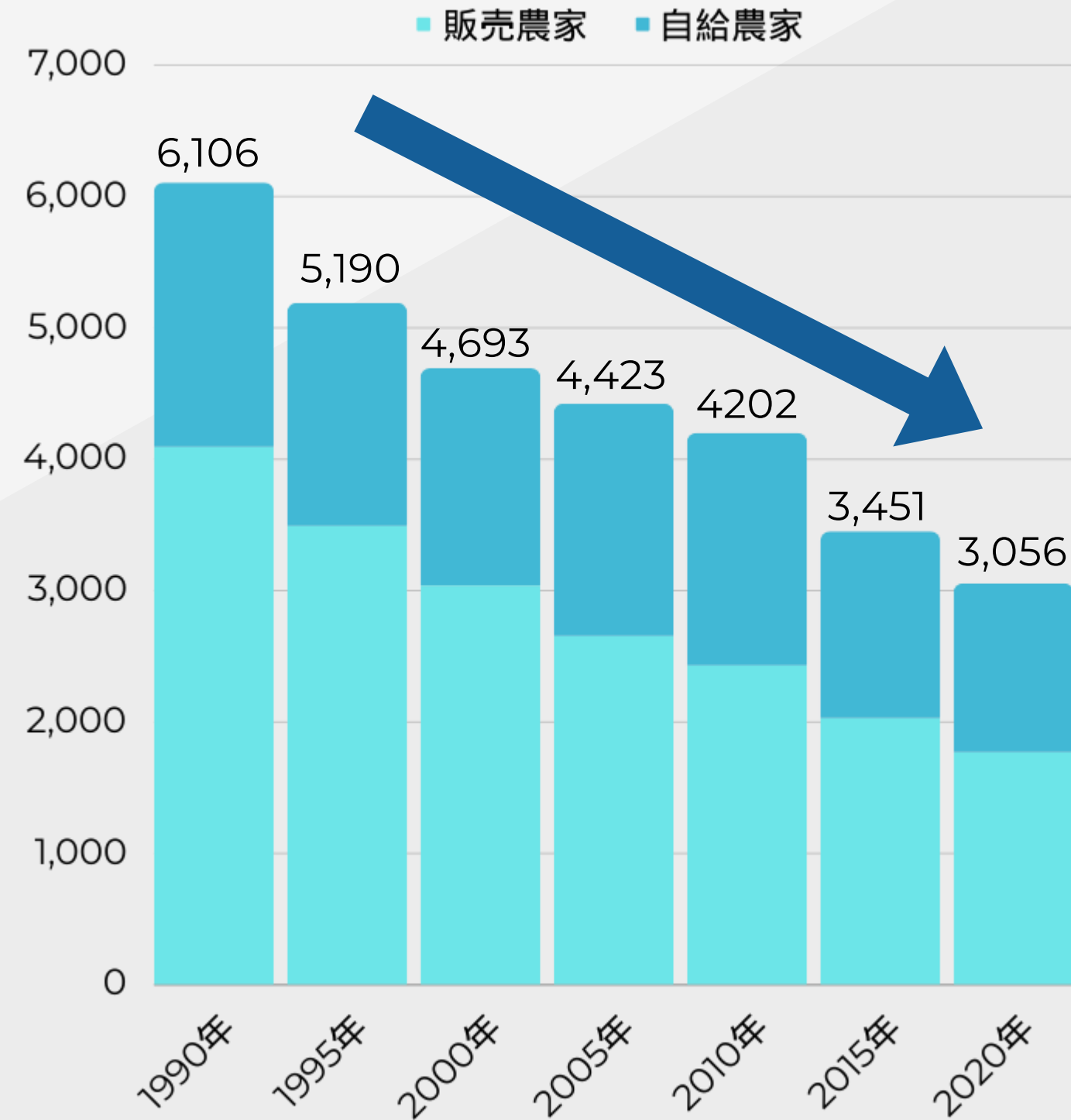
概要

- 貯金残高： 1兆8,447億円
- 貸出金残高： 6,712億円
- 長期共済保有有高： 3兆1,620億円
- 組合員数： 71,820人
 - 正組合員11,060人
 - 准組合員60,760人
- 職員数： 1,337人（正職員のみ）
- 共通ビジョン

みんながHAPPY！やるJAん（やるじゃん）横浜

横浜市の 基幹的農業従事者数

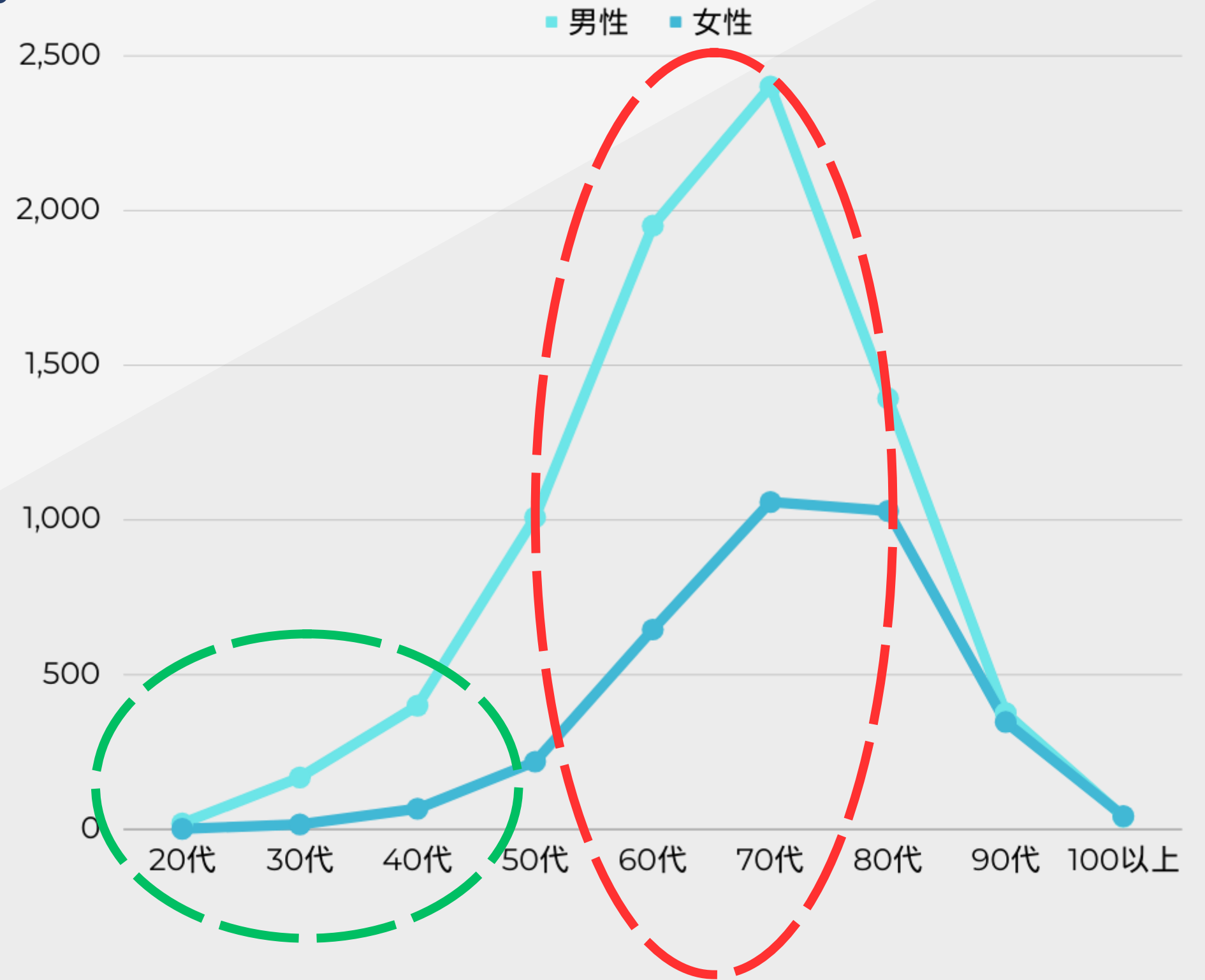
- 年々減少傾向
- 新規就農者も少ない



正組合員の年齢構成

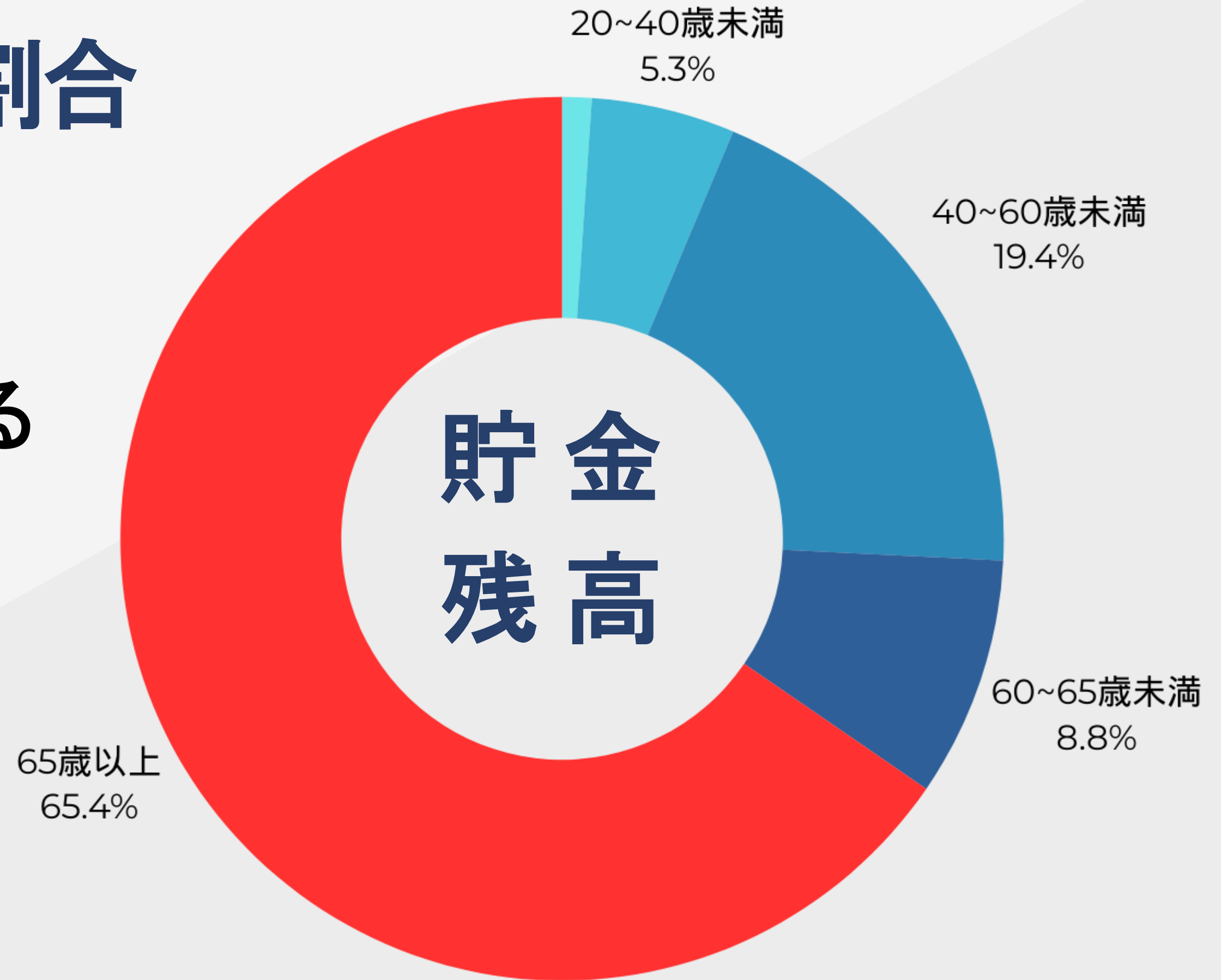
- **60代70代がボリュームゾーン**
- **全体の30%を占めている**

➡ **次世代 = 49以下**
現役層 = 50以上



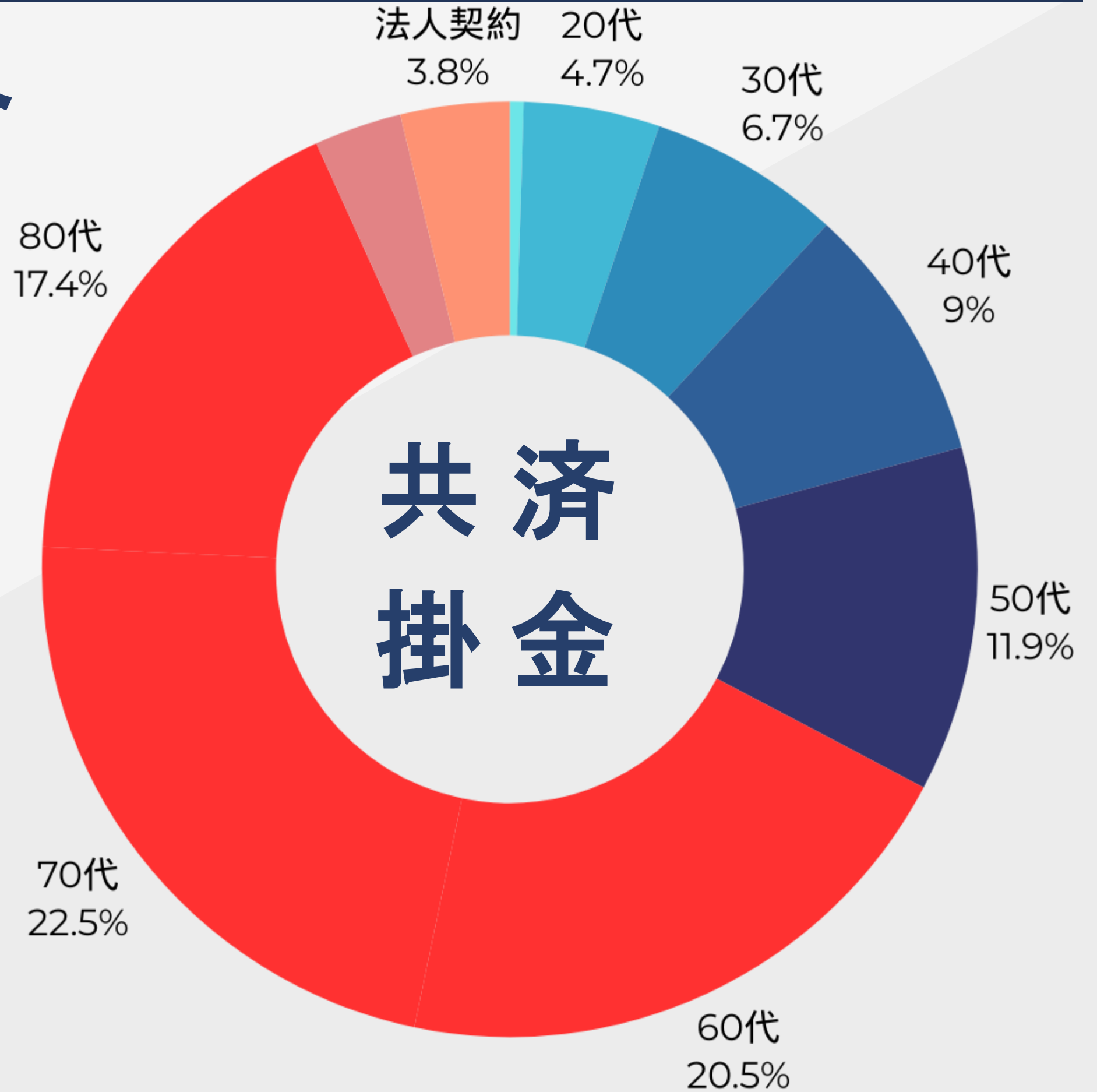
世代別貯金残高割合

- **65歳以上が
65.4%を占めている**



世代別共済掛金割合

- **60歳以上が63.4%を占めている**



見えてきた問題

農業
従事者

全体数減少
新規就農減少

組合員

60代70代
30%超

貯金
残高

65歳以上
65%超

共済

60歳以上
63%超

20年.30年後どうなる . . . ?

JA横浜の組合員との関係強化策の現状-1

アクティブ
メンバーシップ

= 「わがJA」意識を持ち
積極的なJA事業利用や活動参加すること

運営参画

意思反映

組織活動

理念教育
加入

- ・ 毎月の支店運営委員会
- ・ ディズニーランド貸切イベント
- ・ DeNAベ이스ターズ冠試合招待
- ・ ビーコルセアーズ冠試合招待

JA横浜の組合員との関係強化策の現状-2

- ディズニーランド貸切イベント
- DeNAベ이스ターズ冠試合招待
- ビーコルセアーズ冠試合招待
etc...

- 支店運営委員会等

「わがJA」
意識

運営参画

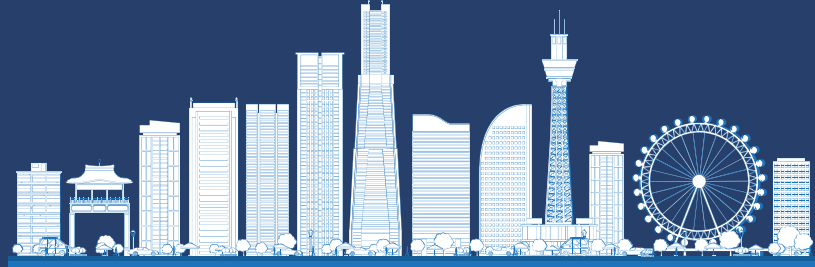
意思反映

活動

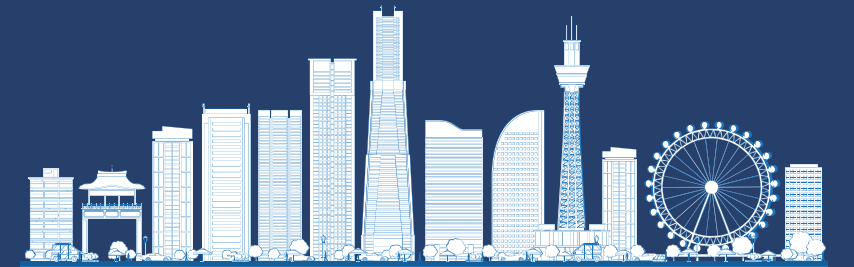
組織

不足!

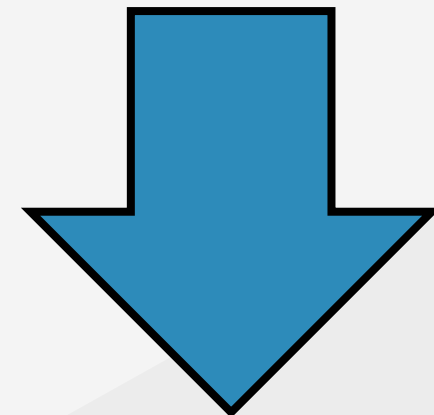
アクティブメンバーシップ



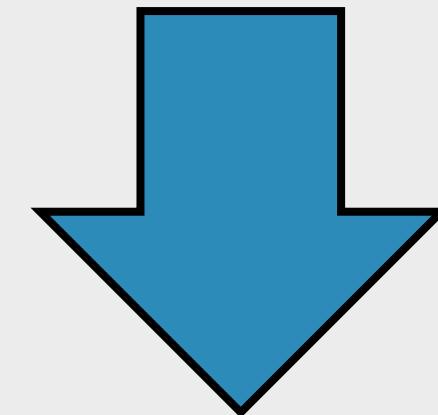
JA横浜 課題



20年,30年後の
組合員問題



アクティブメンバーシップ
問題



次世代層との関係強化策不足

組合員 アンケート

- 対象

- 200世帯を対象

- 現正組合員と次の世代にそれぞれ配布

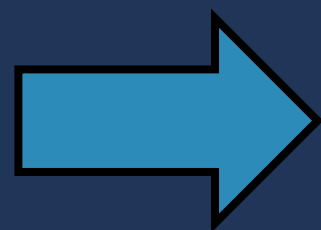
- 400名を対象

- 目的

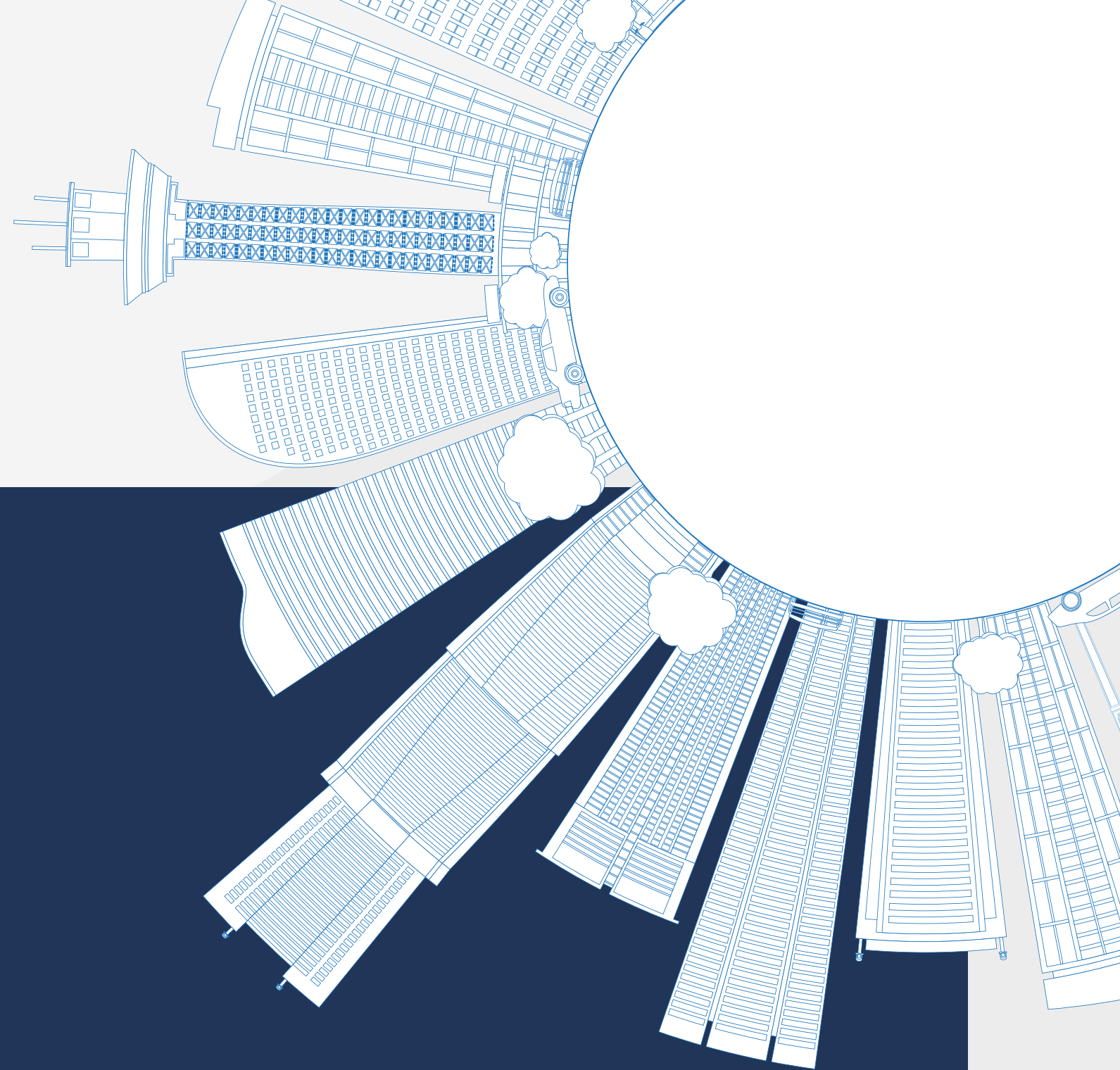
- 次世代像の把握

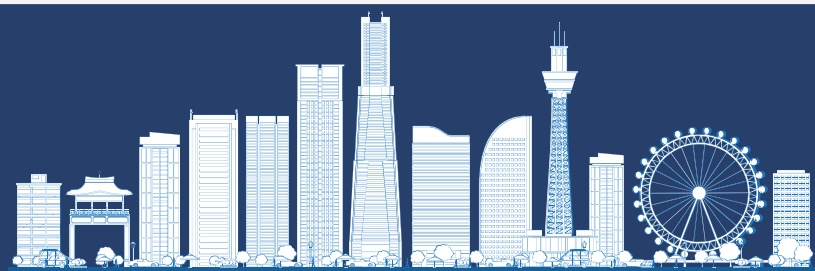
- 現役層と次世代層の比較

- 次世代層の中の比較

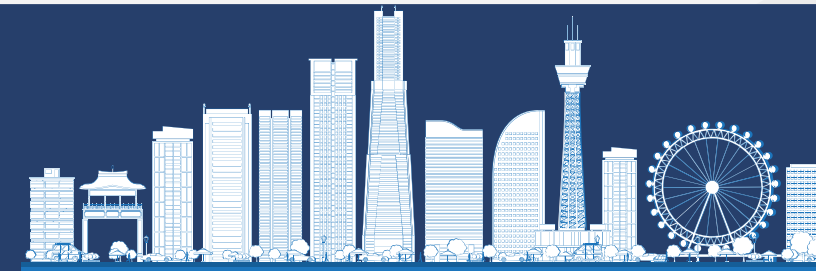


有効な施策





アンケート 内容



1

属性・・・8問

2

事業利用・・・10問

3

考え方・・・10問

4

JAとの
関わり方・意向・・・16問

5

組織コミットメント・・・6問
(組織に対する帰属意識)

1~5の5段階で回答

組合員アンケート アンケート結果-1

- 322人から回収＝回収率80.5%
- 世代による回答の傾向を把握する為に
 - 49歳以下を次世代層、50歳以上を現役層と設定
 - 組合員のボリュームゾーンが70代、その次世代は49歳以下と想定
- 両グループの回答の平均値を算出し比較を行う

次世代層 = 94人

現役世代層 = 228人

属性

- 次世代の農業に従事している層と会社員パート等の比率は同程度
- 次世代の75.6%が農業との関わりを持っている
- 次世代は子どもの頃から農業と関わりを持っている
- 次世代は不動産との関わりは少ない

事業利用

- 両世代とも金融・共済事業の利用率は高い（平均値4以上）
- 次世代は不動産管理や営農経済事業の利用率は低い

イベント利用

- 両世代ともに農業祭りの参加率が高い
- 次世代は子どもの頃からJAのイベントに参加している

JAとの関わり

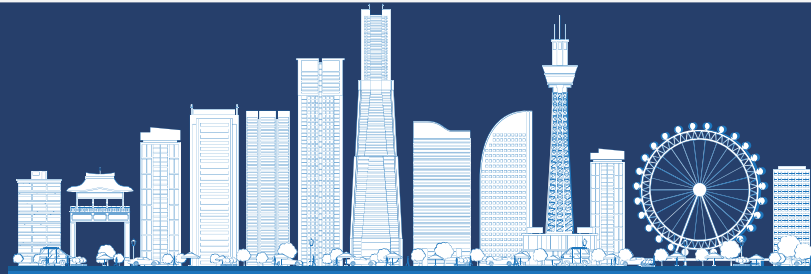
- 両世代ともに定期的に職員の訪問があり顔見知りになっている
- 次世代はAgriの閲覧率と支部活動への参加率が低い

意向

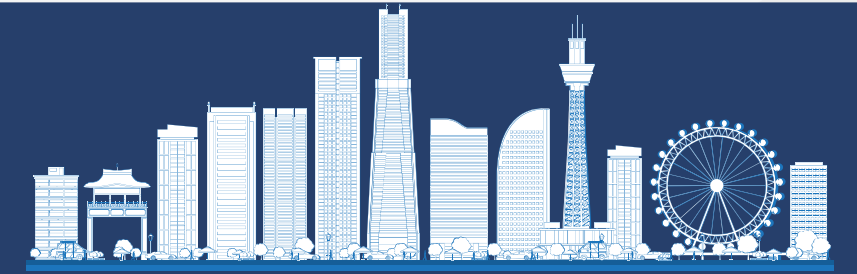
- ・ 次世代は組合員参加型イベントの要望がある
- ・ 両世代ともに今後もJAと関わっていききたい（平均値4以上）

考え方

- ・ 次世代は組織行動よりも個人志向
- ・ 次世代は地域よりも友人・知人との繋がりを重視
- ・ 次世代はSDGsや社会貢献に対する関心が強い
- ・ 次世代は競争よりも協力を重視



現時点での 次世代像



事業利用

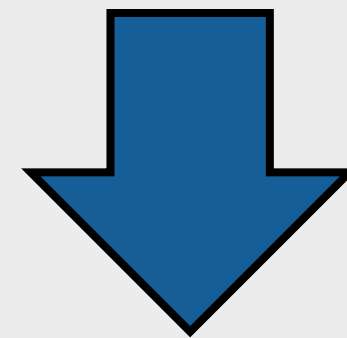
金融・共済事業
利用率高い

農業との関わり

75.6%が
関わりあり

意向

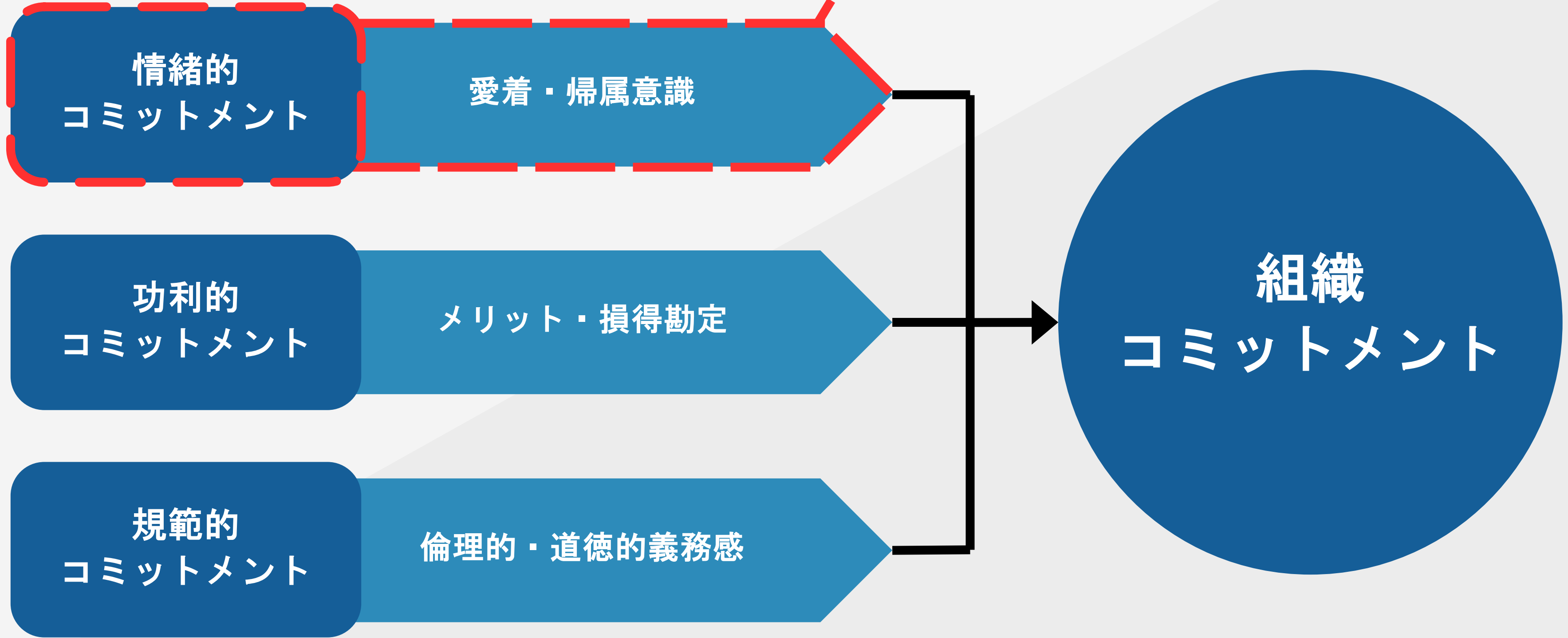
JAと今後も
関わっていききたい



現役世代と明確な差はない

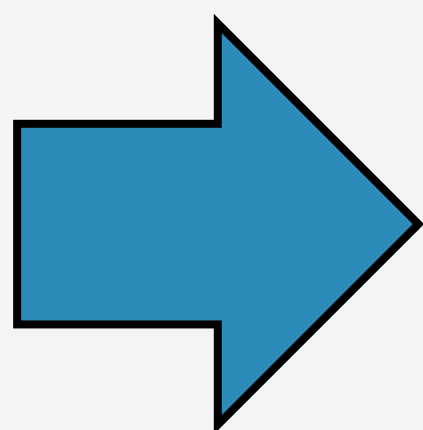
組織コミットメント

情緒的コミットメント＝「わがJA」意識
＝アクティブメンバーシップ



組織コミットメント

- 全ての項目で現役世代より次世代層の方が低い
- 功利的コミットメントの平均点が一番高い
- **情緒的コミットメントの差が一番大きい**



愛着や帰属意識ではなく

メリットや損得勘定で繋がっている

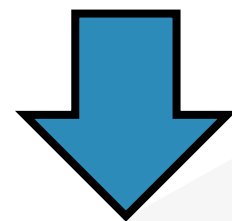
次世代層の詳細分析

情緒的コミットメントが大幅に低い

しかし・・・

次世代層の中でも

情緒的コミットメントが高い層と低い層が存在する

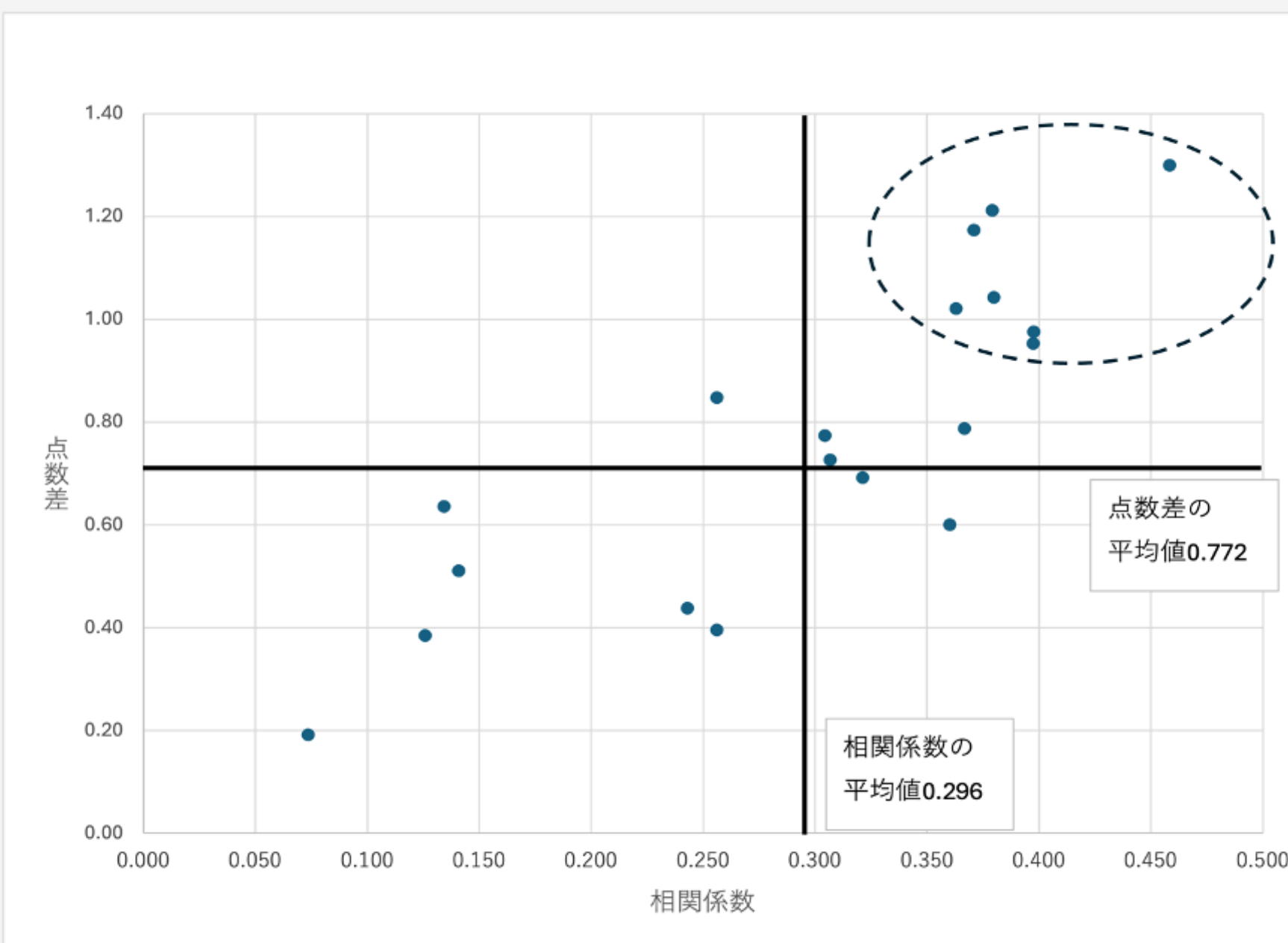


情緒的コミットメント

3.5以上を高コミットメント層・3.5未満を低コミットメント層として分析

分析-1 JAとの関わり方と**情緒的コミットメント**との相関

分析-2 JAとの関わり方について両グループの平均点比較



差が大きかったグループ

- Agriを毎月読んでいる
- 部会との関わりがある
- JA横浜のイベント参加について・農業祭り
- 支部との関わりがある
- 子どもの頃から農業祭りなどのJAイベントに参加していた
- 支店には顔見知りの職員がいる
- 支店運営委員会に役員として関わっている

差の大きいグループから導き出した方向性

方向性-1

JA横浜の情報に触れる重要性

方向性-2

支部活動やイベントへの参加

差が大きかったグループ

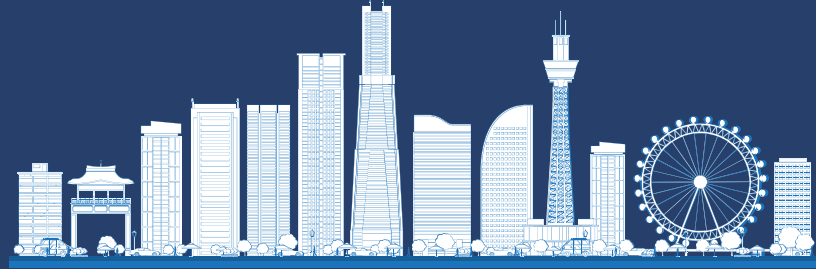
- Agriを毎月読んでいる
- 部会との関わりがある
- JA横浜のイベント参加について・農業祭り
- 支部との関わりがある
- 子どもの頃から農業祭りなどのJAイベントに参加していた
- 支店には顔見知りの職員がいる
- 支店運営委員会に役員として関わっている

分析-3 考え方について両グループの平均点比較

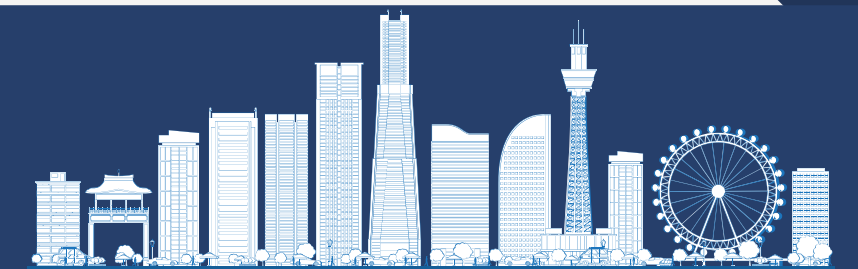
質問	高コミットメント層	低コミットメント層	平均点の差
自分は自分に合ったペースで行動する	4.15	4.51	-0.36
気の合う友人・知人等との繋がりは大切だ	4.53	4.46	0.07

アンケートから一部抜粋

- 次世代層全体としては仲間作りの重要性を理解
- 低コミットメントは組織的な拘束は不向きな傾向



施策提案

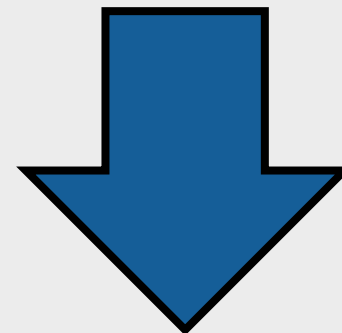


方向性-1
JA横浜の情報に触れる
重要性

方向性-2
支部活動やイベントへの
参加



組織的な拘束は不向き



JA横浜

ジュニア部

組合員・職員専用SNS

やるJAんルーム



JA横浜 ジュニア部

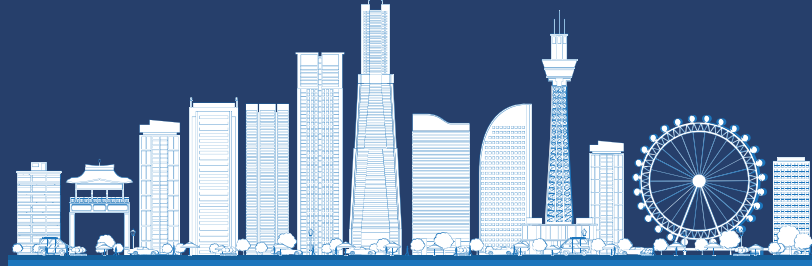


加入資格

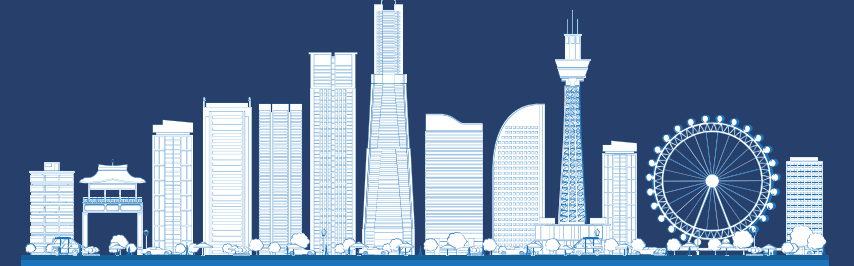
- ・ 親または祖父母が正組合員であること
- ・ 7～18歳まで

活動内容

- ・ 農業祭り等のイベントの
計画・準備・開催
- ・ 運営委員会等への親子での参加
- ・ 支店・直売所等での職業体験



JA横浜 ジュニア部



設立目的

啓発活動

JA横浜への
愛着・関心

人間形成

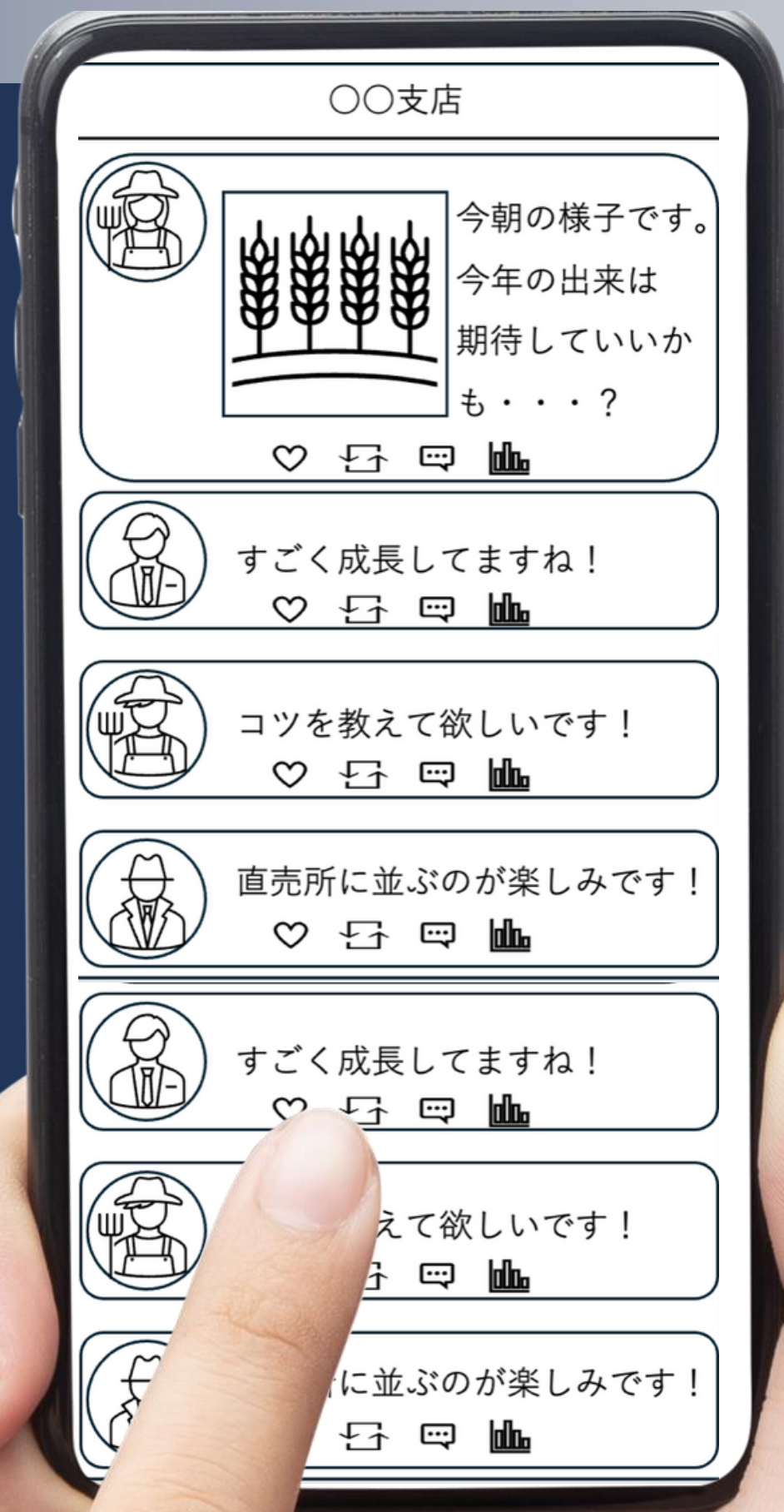
教育面での
社会貢献

親へのアプローチ

子どもを起点とした
関わり

期待効果

組織コミットメントの向上



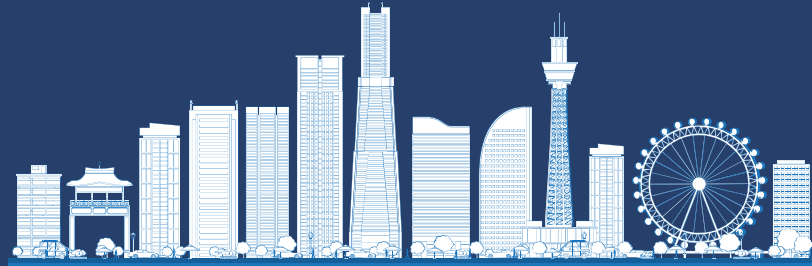
組合員・職員専用SNS やるJAんルーム

登録可能者

- ・ 組合員・組合員家族・職員

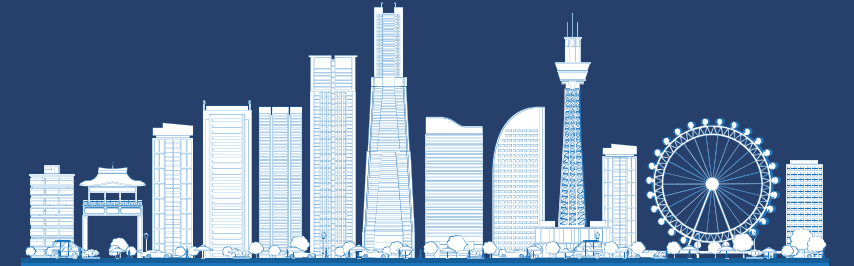
機能

- ・ 文章・画像・動画を投稿可能
- ・ タイムライン形式で時系列順に表示
- ・ 特定の相手に直接メッセージ送信可能
- ・ Agriや支店だよりを閲覧可能
- ・ ログイン特典あり



組合員・職員専用SNS

やるJAんルーム



開発目的

新しい形の繋がり方

対面ではない
SNSでの交流

情報の浸透

デジタルで
情報に触れる

場所・時間に制限されない

次世代への
アプローチの
ブレークスルー

期待効果

組織コミットメントの向上

まとめ



JA横浜

ジュニア部

組合員・職員専用SNS

やるJAんルーム



次世代との関係強化

